



東京部会(第 18 回)

日時: 2009 年 1 月 22 日(木) 19:00-21:00

場所: 日本大学経済学部 3 号館(図書館)4 階会議室

参加者: 篠原(同志社大)、加藤(日大)、中川(日大)、大倉(文科省国立教育政策研)、小島(神戸夙川大)、杉田(千葉西高)、高橋(桜修館中等教育)、鈴木(日本経済教育センター)、中沖(清水書院)、宮尾(国際大)[順不同]

【内容要旨】

1. 篠原先生よりの報告

(1) 経済教育ネットワークのホームページの改訂版を間もなくアップの予定。
 (2) ワークショップを今後以下のように開催予定で準備中;()内は担当ないし講演者:
 盛岡: 中学用(猪瀬)2/27、大阪: 中学用教材作り準備(篠原、小島)3/4、神奈川: 日銀見学+於日大、高校用金融問題(梶ヶ谷、篠原、野間)3/6、東京: 於日大、中学用(三枝、加藤)3/14、福岡: 高校用(新井)3/26。
 なお 3/27 に京都で開催される経済教育学会で篠原先生が参加・講演する予定。さらに八戸(来年度)でもワークショップを開催、準備中。
 (3) 3 月ころ「京都部会」立ち上げの予定。また 5 月ころに篠原先生が兵庫に講演に行き、「兵庫部会」立ち上げの可能性をさぐる予定。
 (4) 今年の夏休み中に、東京証券取引所が米国の NCEE の会長を呼ぶので、経済教育ネットワークとしてもその会に参加する予定。

2. 入試問題について

篠原先生より、経済教育ネットワークとして、入試問題を検討して評価するグループを大阪部会のメンバーも加えて立ち上げて、夏くらいまでにレポートを出したいとの希望が述べられた。それに対して加藤先生より、入試問題を作る立場から、様々な条件や制約も理解した上での批判であるべきとの意見があり、さらに大倉先生より、批判だけでも聞き流されるだけなので、具体的な提案・代案が必要との指摘があった。
 それに関連して宮尾より、今年のセンター試験問題の「政治・経済」のうち特に経済の問題である問3と問4が、単なる計算問題に過ぎず、経済的な見方をテストしていない点、そしてもう少し工夫するだけで問題を改善することができる点が指摘された。
 さらに参加者によって、今年のセンター試験の「現代社会」について多くの問題点が議論された。その結果、経済教育ネットワークとして、入試問題の検討をできるだけ早い機会に開始するよう努力することになった。

3. 金融教育について

杉田先生より、現場の先生方に読まれている『歴史地理教育』(2008年12月号)に掲載された杉浦真理(しんり)氏の論文『投資』の勧めより主権者を育てる金融教育を!』のコピーが配布された。この論文の内容について(特に「保守派の金融教育への批判」について)、杉田先生より、「保守派」といったレッテル貼りでなく、経済教育ネットワークとして「主権者を育てる金融教育」という概念をどうとらえて、どう教えていくべきか、またどのような教材で勝負すべきか、という問題提起があった。
 それに関連して宮尾より、都の公立小中学校で「消費者保護」の視点からの金融教育が導入されつつあるという新聞記事のコピーが配布された。それについて、この流れは「お金」について教えることの必要性が認められた点は評価できるとしても、このまま行くと経済教育ネットワークの意図に反して、経済の仕組みや役割の理解につながらないような金融教育になる危険性が指摘された。
 ただし、中川先生より、杉浦論文のような考え方と全面的に対決する市場中心の立場を打ち出すよりも、市場の不完全性や所得再分配の必要性を強調することで、より現代的な説得力を持つようにすべきという意見も出され、その他色々な考え方が議論された。

4. 公正について

上の議論に関連して、篠原先生より所得再分配のルールやメカニズムが日本ではうまく働かないという問題が提起され、また大倉先生より、新指導要綱で、高校の「現代社会」で「公正、正義、幸福」といった概念が教えられることになった旨の話があった。
 さらに高橋先生より、以前この部会で例として取り上げられた「年収 900 万円の高所得者と 100 万円の低所得者の『不平等社会』と『誰もが 400 万円の所得の『平等社会』とどちらがよいかを生徒に選ばせたと、予想に反してクラスの 3 分の 2 以上の生徒が前者の『不平等社会』を選んだこと(努力して 900 万稼ぐべきというような意見が支配的)、その上で、累進課税や社会保険などの意味を議論させたところ、これまで以上に生徒たちの理解が進んだことの報告があった。
 他方、杉田先生が他の先生に同じ内容を聞いたところ、当然『平等社会』が答えで、その理由は、篠原先生の言われたように、再分配が現実には困難であるからとのことであった。さらに、再分配や公正の問題については、オバマ新大統領の経済政策の議論も出て活発な討論が行われた。

5. ワークショップ(3/14): 企業について

加藤先生より、3/14 に東京(日大)で開催予定のワークショップ案について説明があり、篠原先生が企業の位置づけについて講演を行う予定であることが報告された。
 またそれに関連して、篠原先生と一緒に企業モデルを開発している小島先生より、今後は地元に近い大阪部会で報告を行うこととして、時間があるときに東京部会にも参加して、開発中の企業モデルを改善していきたいとの話があった。

(文責: 宮尾尊弘)

次回開催予定: 3 月 5 日(木) 19 時~21 時、日大経済学部 3 号館(図書館)4 階会議室

主な議題は三枝先生による「企業を中心にした中学授業のやり方」。